

「第14回 製剤機械技術学会 仲井賞」 受賞者の選考結果について

The 14th NAKAI Award of the Japan Society of
Pharmaceutical Machinery and Engineering

仲井賞選考委員会 委員長 竹内洋文
HIROFUMI Takeuchi

Chair of Selection Committee of the NAKAI Award

本学会では創立10周年を機に、平成13年より表記の賞を設定し、製剤機械技術の進歩と発展に貢献した個人又はグループの功績を顕彰しております。

第14回は応募件数が2件で、仲井賞選考委員会（平成26年1月から2月の持ち回り審議）において、新規性、実用性、社会における貢献度の観点から、慎重かつ厳正に審査した結果、下記の候補者を「第14回 製剤機械技術学会 仲井賞」受賞者として会長に報告し理事会にて受賞者が決定した。

記

- ・ 受付番号：25-01
- ・ 受賞者：原 好男、松田 健、向井 正志（大塚製薬株式会社）
- ・ 受賞業績題目：口腔内崩壊錠に対応した錠剤印字装置の開発
- ・ 受賞理由：候補者らが開発した錠剤印字装置は、従来困難であった口腔内崩壊錠を含めた素錠への鮮明な印刷を可能とした、画期的なものと判断される。本技術による、錠剤識別性の飛躍的向上は、医療従事者や患者さんのニーズに対して正鵠を得たものであり、アドヒアランスの向上への貢献度も非常に高い。本業績は、新規性・進歩性、社会的貢献度から特筆すべきレベルと判断でき、仲井賞に正に相応しい業績であると考えます。

- ・ 受付番号：25-02
- ・ 受賞者：稲岡 力、松田 晋也（第一実業ビスウィル株式会社）
- ・ 受賞業績題目：錠剤外観検査における錠剤表面形状認識の高精度化技術
- ・ 受賞理由：候補者らが開発した錠剤の外観検査機は、錠剤表面形状の3次元計測に加え、モジュール化による型替え、洗浄の簡便化など、装置の完成度としては非常に高い。個々の要素技術の新規性はさほど高くないものの、従来方式では困難であった微細な形状異常を高速で検出可能とした点からは、本装置の医薬品製造現場における錠剤検査精度向上と生産性向上への貢献度は高い。
以上のことより、仲井賞に相応しい業績であると考えます。

以上